

「令和2年7月豪雨災害」状況報告（9月11日（金）現在）

認定 NPO 法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

■ 家屋の被害状況（参照元：総務省消防庁 9月3日 14:00 発表）

URL：https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/200903_oame50.pdf

■ 熊本県

＜ 情報共有会議の開催 ＞

・「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（KVOAD）」により、現在、毎週火・木 18 時より「火の国会議」水害版として開催。

（「火の国会議」議事録は、右記 KVOAD web サイトより閲覧可能 <https://www.kvoad.com/> ※熊本地震版の同時開催もあり）

・被害の大きかった人吉市においては、市町の情報共有の場として「人吉球磨村連携会議」が毎週水曜日に開催され、現地の状況の共有や、支援の検討、課題の共有がされている。また、芦北・水俣、八代(坂本町)においても、市町村域での会議体の設立など連携協働を促進する取り組みが進んでいる。

＜ 災害ボランティアセンター ボランティア促進の取り組み ＞

・熊本県、熊本市、及び各市町社協によって、県内・市内ボランティアの方が利用できるよう、ボランティアバスが運行。熊本市は、台風 10 号により欠便になった分を 9月 25,26 日に代行運行し、また、宇城市社協は 9月にボラバスの運行を再開した。

・有償ボランティアの取り組みも一部で行われている（学生ボランティアの促進や、被災された方への対応）。

＜ 避難所運営 ＞

・避難所運営の知見を持つ支援団体が、一部の避難所において運営サポートを開始。長期化する避難生活を少しでも過ごしやすくするため、避難所における感染症対策の改善等に取り組んでいる。また、栄養面の心配から、食の改善に取り組んでおり、避難所によって支援の差が出ないように、各避難所と連携しながら進めている。



ゴミ箱の改善前後 写真提供：PBV

・各避難所において運動不足、生活不活発による体調不良について、県外から出来る支援（運動不足解消のための動画など）を、現地に情報提供している。

・武田薬品工業(株)「自宅できる簡単エクササイズ」 <https://www.takeda.co.jp/patients/exercise-movie/>

・聖路加国際病院「自宅できる！おうちリハビリ」・有酸素運動編 <https://www.youtube.com/watch?v=7zZjWyoJpYo>

＜ 仮設住宅への入居 ＞

・仮設住宅への入居が進む中、被災者への物資支援を取り入れた見守り・相談の仕組みについて、検討が進められている。

・入居する仮設住宅に応じて、スクールバスが出るか、近郊の小中学校に行かねばならないか、校区が変わることを心配される方が多くいらっしゃる。

・長い避難生活から、仮設住宅へ移転したばかり、という事もあり、気力の面でも調理する十分な状況でない方が多い。

・栄養改善の一環として、炊き出しを希望する支援団体もある。外部からの一方的な支援でなく、住民と協働で取り組むような場づくりにする配慮は必要になってくる。

・建設型仮設に併設される「みんなの家」など、集会場への備品提供がない場合があり、現地において、支援の検討や調整がなされている。

＜ 在宅避難者 ＞

・八代市坂本町、人吉市において、在宅避難者のアセスメントが開始される。社会福祉士（専門職）とサポート調査員とペアで調査にあたる予定。調査結果を、今後の見守り・支え合いの仕組み等につなげ、長期的な支援につながることを期待している。

大分県、福岡県については、地元中心の支援体制が構築されつつあるため、JVOADとして今後、JVOADはオンラインでの情報共有会議への参加を通じて、県内支援団体と連携し、現地の状況を確認しながら、今後も必要に応じて支援をつなげていく予定です。